

おかげさまで90年



中間決算説明会 平成24年3月期
2011年11月22日

 **株式会社 立花エレテック**

TACHIBANA ELETECH

東証・大証1部 8159

創業90周年を迎えました



●創業90周年記念・企業広告
(9月1日、日経新聞全面)



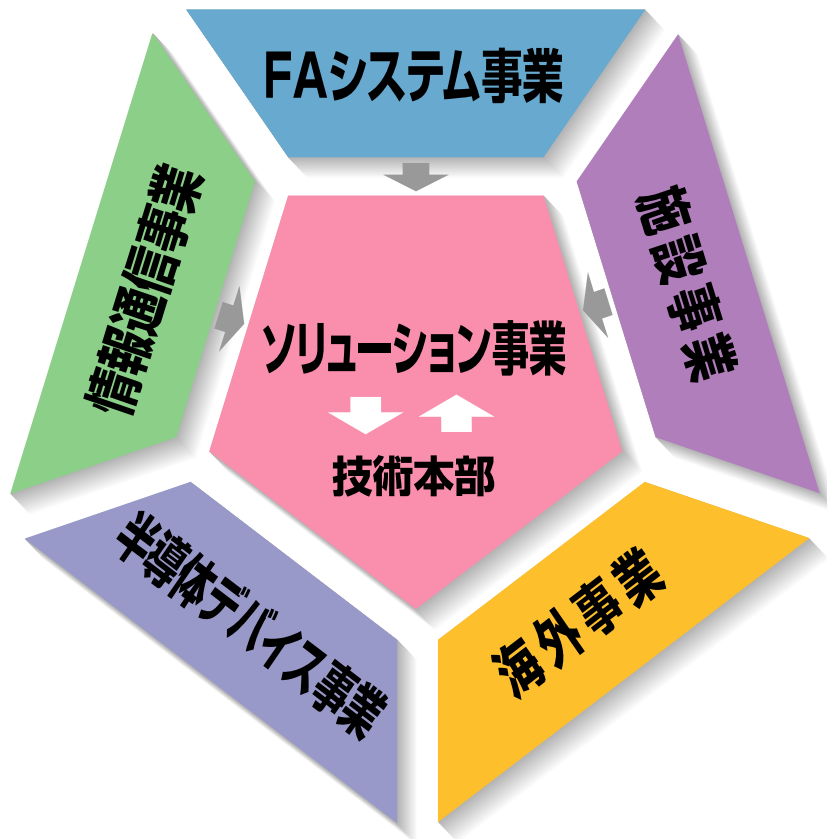
●創業90周年記念冊子
「この10年の歩みと未来に向けて」

会社概要

社名	株式会社 立花エレクトック 証券コード 8159 (東証・大証第1部)		
創業	1921(大正10)年9月1日～創業90周年		
代表者	代表取締役社長 渡邊武雄	発行済株式数	21,381千株 (自己株式を含む)
本社所在地	大阪市西区西本町 1-13-25	株主数	3,126名
資本金	56億92百万円	従業員数	連結 1,035人 単独 803人
連結売上高	1190億21百万円 <11年3月期>		
事業内容	電機・電子の商品、システムを販売する技術商社		
事業所	支社:東京、名古屋 支店:11 営業所:5 物流センター:1		
グループ企業	連結子会社:国内 7社、海外6社(シンガポール、香港、台湾、上海、韓国、タイ)		

[2011年9月末現在]

事業ドメイン/事業内容



FAシステム事業

モーターや遮断機などの電気機器。インバータやPLC、サーボなどのFA機器。放電加工機やレーザー加工機などの産業機械。各産業の生産ラインの自動化・合理化システムの構築。

半導体デバイス事業

規格品からユーザー仕様までニーズに合わせた半導体製品や電子デバイス。さらにマイコン・ASICやカスタムLSIの設計開発。またEMSビジネスを展開。

情報通信事業

コンピュータ、通信、映像の3分野を主に情報ネットワークを形成するシステムや通信機器・映像機器・各種パソコン・シンクライアントシステムを販売

施設事業

工場やオフィスビル・店舗における照明・空調・エレベーターなどの昇降機、防災設備機器。また省エネに優れたオール電化製品を販売。

ソリューション事業

技術商社として培ってきた技術力を結集して工場などにおける省エネ・環境・安全・効率性といった要素を含めた複合的なシステム案件や太陽光発電を販売。

海外事業

主に中国を中心としたアジアに半導体、FA機器・産業機械の販売並びに電子部品関連材料や各種金属加工品の貿易業務。

増収増益 ～ 当初計画（前年同期比110%・前下期比95%）は
リーマンショック後の景気回復基調の延長線で策定

- 震災影響を営業努力でカバー
- 日本経済全体が景気回復基調で進行
⇒ 震災の影響を受けたが新たに省エネ需要が発生

< 震災の影響 + 円高の影響 >

震災の影響でFA機器やマイコン等、多くの商品の供給が一時的に滞った

- ルネサスエレクトロニクス殿の工場被災による商品不足

⇒ 顧客に対するフォロー、供給努力が身を結んだ

★ 技術商社としての力を活かし、自社ソフト開発をした
代替品を提案推奨

- FAをはじめ、全体的に商品不足

⇒ 営業努力でカバー

- 日本企業の海外シフトが猛加速中

2012年3月期中間決算総括②

【業績の概況】

当初計画を100%達成 ～ 主力事業(FAシステム、半導体デバイス)が伸長

- FAシステム事業：<前年同期比9.2%増> 半導体・液晶・LED製造装置メーカー向けにインバータ、ACサーボ、PLCなどの主力製品が伸長。また海外案件増加に伴い産業機械(レーザー、放電加工機)が順調に推移
 - 半導体デバイス事業：<前年同期比15.0%増> カーエレクトロニクス関連機器や家電製品向けにマイコンや専用ICが伸長。またエアコン用パワー素子が順調に推移
 - 海外ビジネスの拡大 <海外事業売上高:前年同期比28.6%増 >
日系メーカーに加え、中国ローカル企業への拡販。マイコンや専用ICなどの半導体が大幅に伸長
- *利益増の要因:費用の圧縮 大電社の経営改善費用やCAPUPコンサル費用の減

【連結業績ハイライト】

(単位:百万円)

主要科目	2011年3月期中間	2012年3月期中間	前年同期比	主な要因
売上高	55,120	60,974	110.6%	-
売上総利益	7,578	8,125	107.2%	売上総利益: 過去最高(半期ベース)
販売管理費	6,215	6,349	102.2%	CAPUP、大電社 コンサル費用 ▲210
営業利益	1,362	1,776	130.4%	-
経常利益	1,643	2,118	128.9%	-
四半期純利益	778	1,105	141.9%	-

2012年3月期中間決算総括③

【海外事業売上高】

(単位:百万円)

事業分野 (セグメント)	2011年3月期 中間	2012年3月期 中間	前年同期比(%)
FAシステム	428	442	103.2
半導体デバイス	5,001	7,038	140.7
貿 易	1,450	1,366	94.2
海外事業売上合計	6,880	8,847	128.6
海外事業売上比率	12.5%	14.5%	2ポイントUP

*海外事業売上の内、中国・香港への売上比率は 66.7%

2012年3月期中間決算総括④

【事業別 売上高/営業利益(連結)】

(単位:百万円)

事業分野	2011年3月期中間			2012年3月期中間			前年同期 増減率(%)	
	売上高	構成比 (%)	営業 利益	売上高	構成比 (%)	営業 利益	売上高	営業 利益
F A システム	26,316	47.7	700	28,740	47.1	1,166	+9.2	+66.6
半導体デバイス	20,205	36.7	709	23,230	38.1	709	+15.0	+0.0
情報通信	2,232	4.0	△138	2,130	3.5	△109	△4.6	-
施設	4,607	8.4	153	5,165	8.5	17	+12.1	△88.9
ソリューション	306	0.6	△84	340	0.6	△57	+11.0	-
貿易	1,450	2.6	22	1,366	2.2	50	△5.8	+127.3
合計	55,120	100.0	1,362	60,974	100.0	1,776	+10.6	+30.4

● 商社としての原点的な社会的役割を果たす

『お客様への製品・サービスの供給責任を確実に果たす』

● 徹底した営業力強化と体質改善の推進

「C.A.P. UP1500」の強力継続推進

● 海外ビジネスの強化

～日本企業の海外シフトがより加速～

* FAシステムの海外販売を本格展開

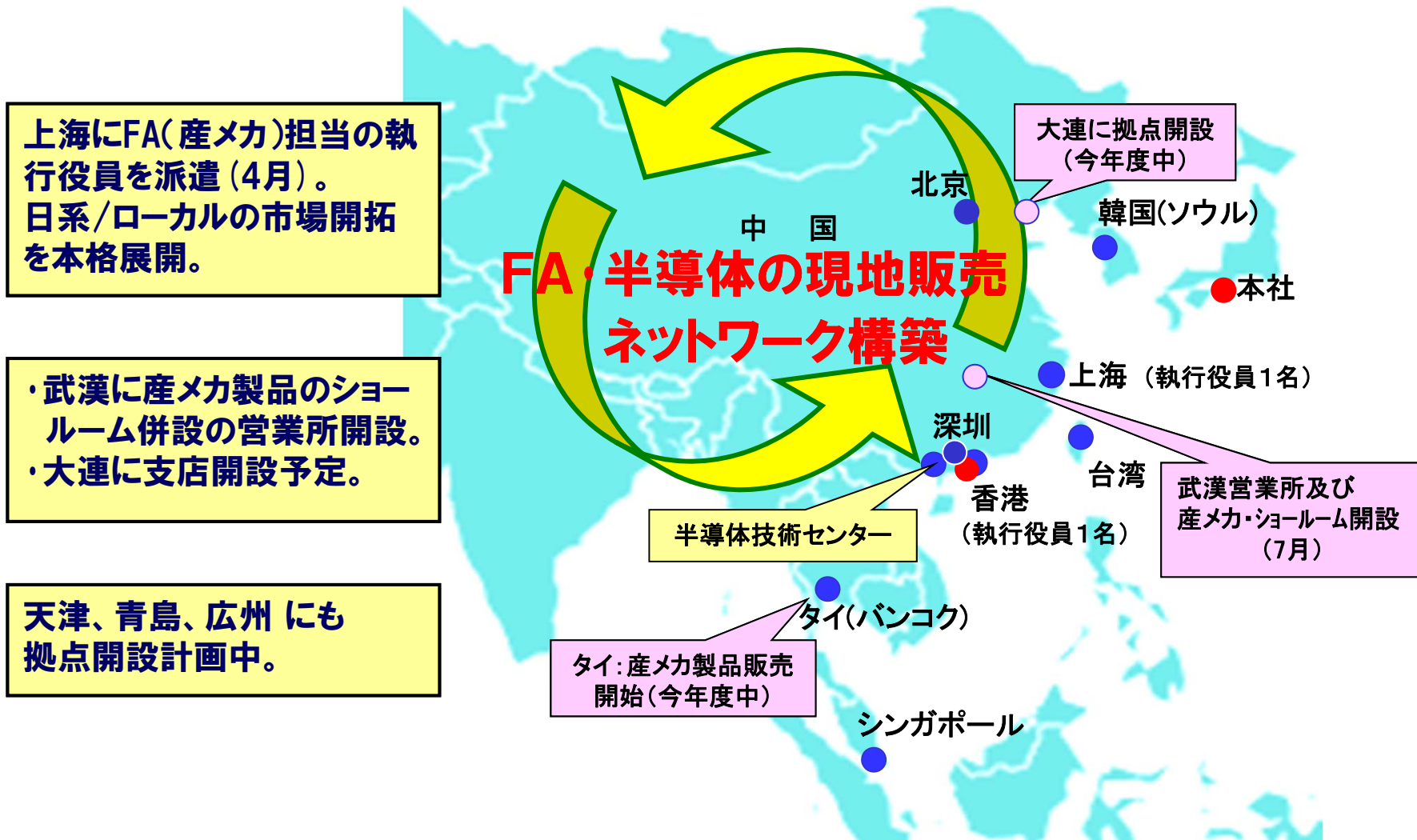
* 中国を含むアジアにおける販売ネットワークの構築

海外ビジネスの強化

- 中国市場でのFA (FA機器、産メカ製品)販売本格化
産メカ製品(放電加工機)販売実績増加
⇒80%がローカル顧客
- FAシステム事業においても技術支援体制の強化開始
- タイでも現地法人機能拡大により産メカ製品販売拡大

中国・アジアへの積極的な事業展開

日系企業への半導体販売に加え現地企業に対するFA製品の販売を拡大



中国・武漢 ショールーム併設の営業所開設



● 武漢営業所の開所式

● 武漢・産業メトロクス製品
(放電加工機)のショールーム



2012年3月期(83期)業績計画

業績計画(連結)

(単位:百万円)

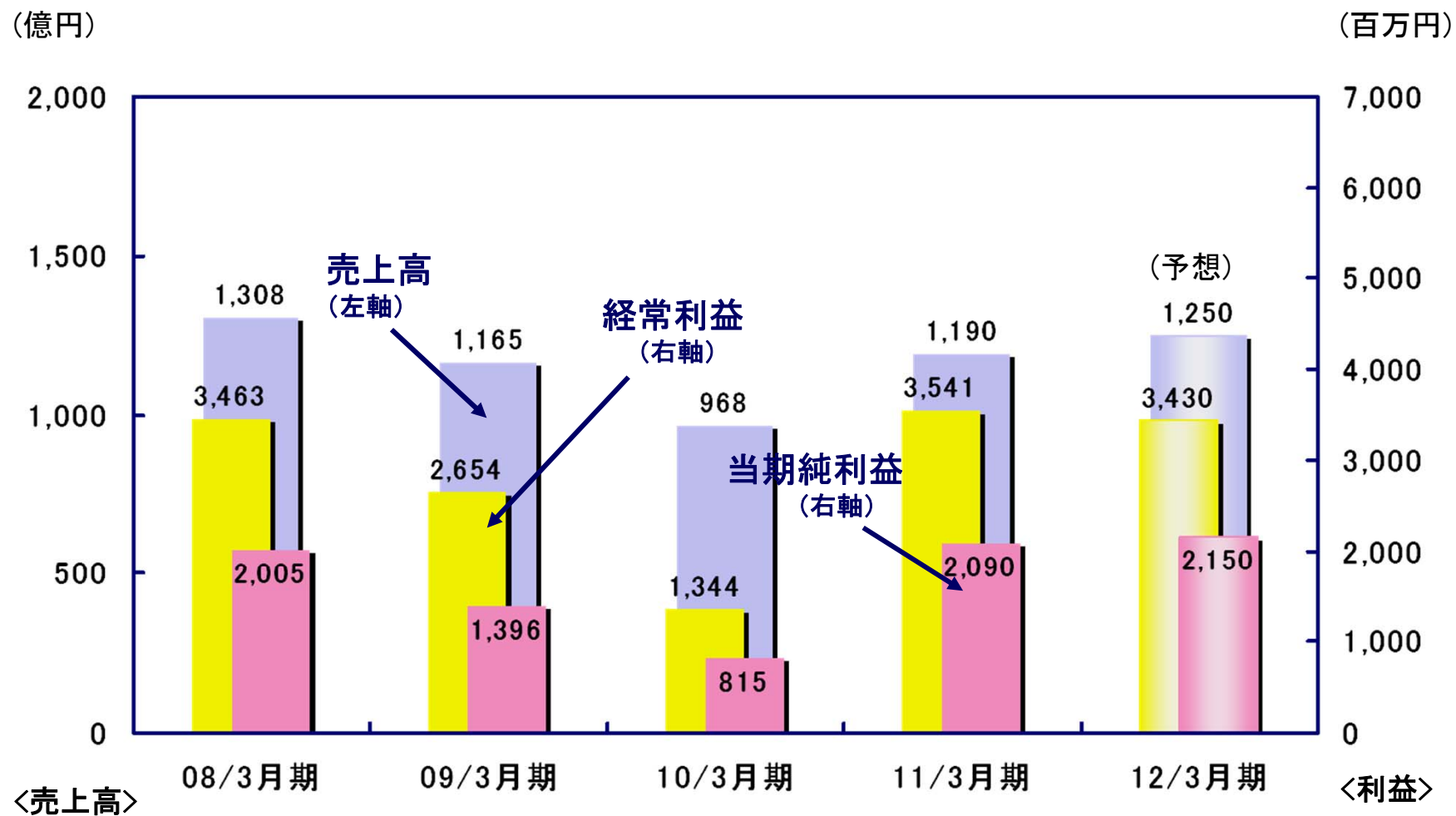
主要科目	2011年3月期	2012年3月期計画	前年比(%)
売上高	119,021	125,000	105.0
営業利益	2,956	2,800	94.7
経常利益	3,541	3,430	96.8
当期純利益	2,090	2,150	102.9
1株当たり年間配当金	22(円)	20(円)	—
1株当たり当期純利益	100.58(円)	103.47(円)	—

* 売上高の内

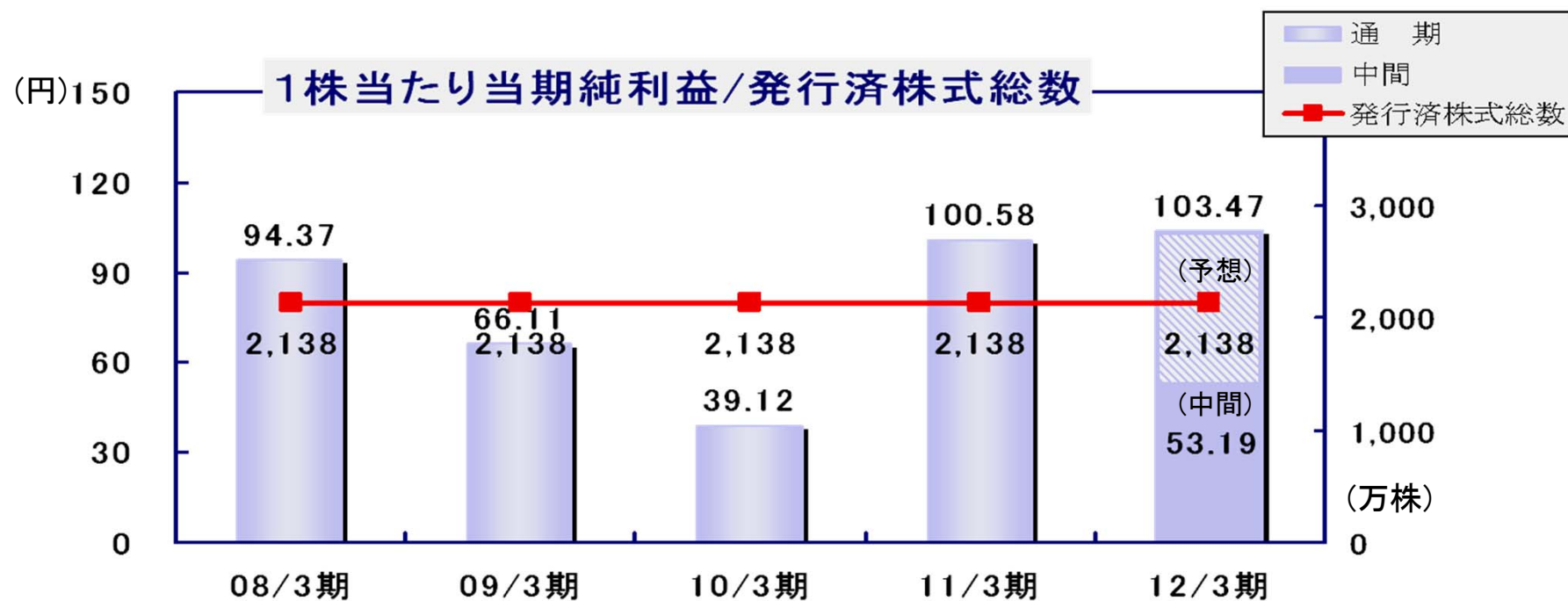
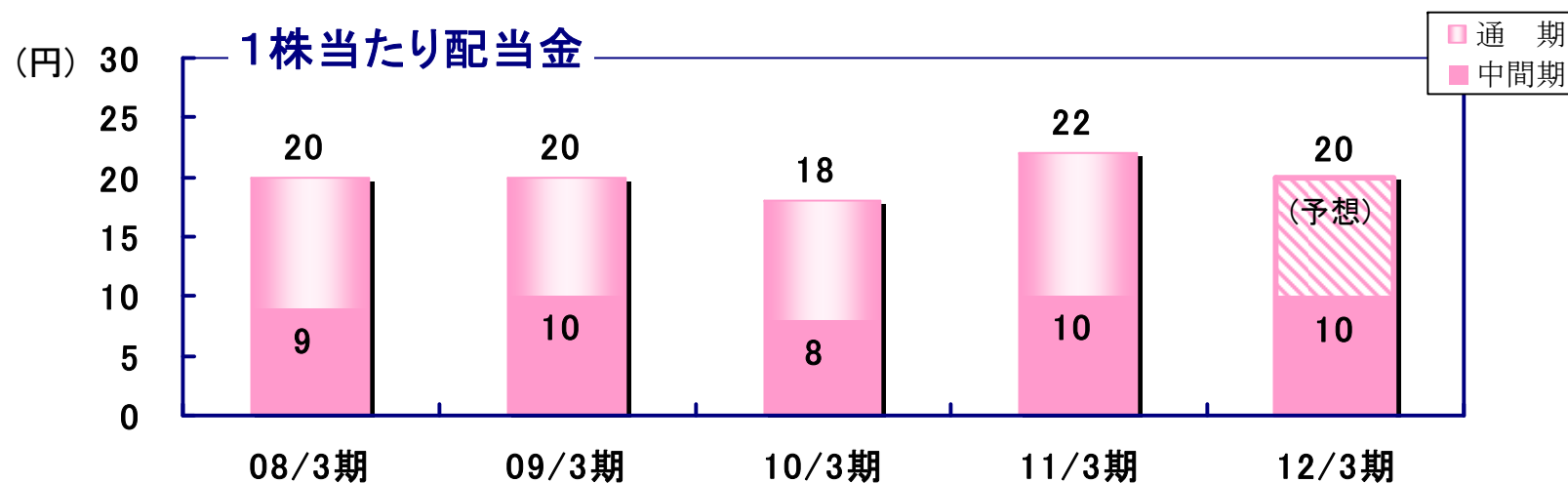
海外事業売上高	15,029 (12.6%)	18,300 (14.6%)	121.8
---------	----------------	----------------	-------

* ()は全体に占める割合

連結業績の推移



1株当たり指標



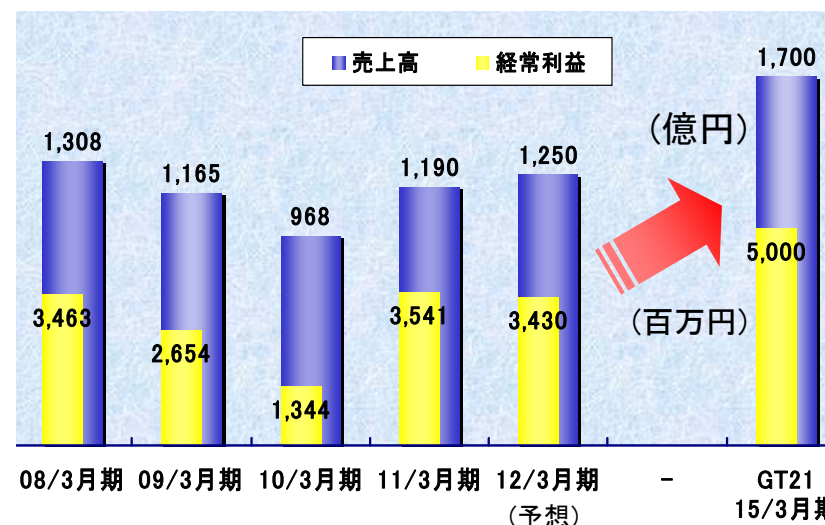
2015年3月期を見据えた中長期ビジョン『GT21』

◆ 経営目標数値（2015年3月期）

売上高 1,700億円

(海外事業売上比率30%を目指す)

経常利益 50億円



◆ 基本方針

- ・中国を含むアジア市場におけるビジネスの拡充とローカル化の推進
- ・成長市場への参入と顧客ニーズに即したビジネス展開
- ・企業グループとしての総合力の発揮と事業領域の拡大
- ・「C.A.P.UP1500」プロジェクトの継続推進による販売力の強化

**ご清聴いただき、誠にありがとうございました。
今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。**

お問い合わせ先

(株)立花エレテック 総務部 広報・株式課

Tel: (06)6539-2718 Fax: (06)6539-8821

<http://www.tachibana.co.jp/>

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。